

目 次

口 絵

刊行のことば

監修のことば

まえがき

凡例

上田市誌刊行会長 上田市長 母袋創一
東京大学教授 文学博士 佐藤信

目 次

幕末の洋式兵学者・議会政治の先唱者	赤松小三郎	2
戦時下の上田市長・長野県医師会長	浅井 敬吾	4
上田の代表菓子「みすゞ飴」の創始者	飯島新三郎	6
花月文庫を後世に残した実業家	飯島保作（花月）	8
蚕糸業・地方史研究等に功績	猪坂 直一	10
一生を通じて地方自治に尽くした人	石井 泉	12
美術の広い分野で本格独自の造形性を高めた美術家	石井 鶴三	14
伊藤商会・上田ガスの創立者、上田市長	伊藤傳兵衛	16
上田蚕糸専門学校長・上田市長・初代県短期大学長	井上 柳梧	18
「農村雑記」を指導したロシア文學者	上田 進	20
教育者、『信濃国小県郡年表』を著した地方史家	上野 尚志	22
地域の音楽文化を高めた教育者	兎束 武雄	24
世界への道を開いた名バイオリニスト	龍夫	26

上田藩最初の茶頭	大塚 宗雅
小学生にまで知られた江戸後期の俳人	岡崎 如毛
新しい観光事業・国土総合開発のパイオニア	小川 栄一
監獄制度改革と方面委員（民生委員）制度の創設者	小河滋次郎
製糸業界を支え発展に尽くした人	笠原 善吉
上田市の文化・教育・厚生事業に尽力した市長	勝俣英吉郎
防疫行政一筋に尽くした近代公衆衛生の父	勝俣 稔
江戸後期の禪僧	活文 禪師
上田藩校明倫堂初代惣司	加藤 維藩
「蒙古連合自治政府」の最高顧問となつた政治家	金井 章次
哲学を志し農民美術や自由大学など郷土に尽くした篤志家	金井 正
日本文芸評論家・哲学界の先駆者	金子馬治（筑水）
川柳一筋に七〇年、本格川柳に徹した籠妻居	金子 吞風
上田市更生保護婦人会の生みの親	金子 ふじ
信濃絹糸紡績（シナノケンシ）を創立した事業家	金子 行徳
天明期の狩野派上田藩絵師	狩野 永翁
天明期の農民出身狩野派絵師	狩野 永琳
蚕の神様	蒲生 俊興
俳句の改革と上田の庶民文化を高めた江戸後期の俳人	加舎 白雄
近代教育の実践者	久米由太郎
早成の才人	久米 正雄
『小学校の歴史』を書いた教育史の権威・文学博士	倉沢 剛
農村に温かな目を注ぐ高潔で不屈の画家	倉田 白羊

仏像彫刻の研究家・奈良国立博物館長	倉田 文作
陸水生物の生態を究めた理学博士	小泉 清明
明治・大正期に活躍した女性教師	河内山 寅
上田温泉電軌の創設者	小島大治郎
俳句に、書にすぐれた江戸後期の文人	小島 麦二
人間愛・教育愛に殉じた教育者	小菅 武夫
蚕糸業とボーアスカウト運動に功績を残した衆議院議員	小林 運美
長野県の美術教育の先駆者・彫刻家	84
沼田・上田城主真田信之の妻	82
庄屋の不正に立ち向かった江戸後期の義民	80
生涯を学校教育と地質研究に捧げた人	78
蚕種業の功労者、衆議院議員、初代長野市長	76
徳川の大軍を二度にわたり撃退した知略の名将	74
上田藩・松代藩の基礎を固めた名君	
德川家康を苦しめた知勇兼備の戦国武将	
動搖する時代に教育尊重の精神を貫いた教育者	
郷土愛と人間愛に生きた山岳写真家	
上小地方の南画普及に功績を残した日本画家	
第十回ロス五輪・女子槍投げ四位入賞に輝く	
江戸時代中・後期の名棟梁	
上田城を復興した藩主	
『赤松小三郎先生』を著述した上田市の名助役	98
信州最古の禅刹安楽寺開山	96
柴崎 高陽	94
塩沢 隆平	92
真田 信繁（幸村）	90
佐藤八郎右衛門	90
真田 昌幸	90
真田 信之	90
柴崎 新一	88
樵谷 惟僊	86
正村 竹亭	84
真保 正子	82
末野忠助吉氏とその一族	80
仙石 忠政	78
	76
	74

自由大学講師から労働・農民運動指導者へ
写真ジャーナルのパイオニア

高倉 輝（タカラ・テル）
高桑 勝雄

三澤地理学の後継者

高野 豊文

原町「問屋日記」の保存と現在も生きる善意の史料と図書

滝澤助右衛門

優れた門人を育成した江戸期わが国第一流の関流和算家
江戸末期に活躍した宮大工・彫刻家

竹内八十吉
竹内善吾武信

財政学の権威者・東京大学名誉教授

武田 隆夫
武田 月丸

狂歌を上田に定着させた武士

田中 救時
龍野周一郎

大同団結を呼びかけた自由民権運動家

田中 救時
龍野周一郎

明治の地方自治と教育をすすめた人

田中 救時
長井 一成

幕内力士―大正末から昭和初期に大活躍した風流力士

太郎山勇吉
塚田与右衛門

わかりやすい養蚕技術書を著した養蚕改良の第一人者

塚田与右衛門
長井 一成

地域の合唱指導に情熱を注いだ中学校教師

中村 實
中村 綾緒

遺族会婦人部の創始者

中村 直人
成澤 雲帶

農民美術研究所第一期生で木彫芸術に新しい道を拓いた人

中村 實
中村 直人

脱俗の芸術家―彫刻家で画家

成澤 寛経
成澤 玲川

上田の町人文化を高めた江戸後期の俳人

成澤 伍一郎
成澤 雲帶

上田地方の郷土史研究の開祖

成澤 寛経
成澤 玲川

写真ジャーナリストの先達

成澤 伍一郎
南条吉左衛門

不況克服に精力を注いだ「雷市長」

成澤 伍一郎
西川小扇八

近代における地方の政治家・実業家

上田地方に日本舞踊を根づかせた舞踊家

上田の町と人を描き脚光を浴びた作家

新田 潤
新田 潤

民俗学の普及活動に貢献した研究者・教育者………	箱山貴太郎
戦後の女性の地位向上や社会福祉に尽くしたリーダー………	八田たつよ
新聞記者から国政一筋に尽くした政治家………	羽田武嗣郎
幕末から明治にかけての勘定奉行で四条派画家………	服部 元戴
女性初の市議会議員として活躍したリーダー………	花岡みよし
我が国川柳研究の先駆者・上田六文錢川柳社の創設者………	花岡 百樹
塩尻が生んだ地方自治・蚕種業の功労者………	馬場 歳次
昭和期、日本スキー界の草分け………	馬場忠三郎
林倭衛の新生と復活………	林 倭衛
先見性に優れた信州大学纖維学部長………	林 貞三
延宝（江戸前期）の義民………	林徳左衛門
上田が生んだ国際商業写真家………	ハリー・K・シゲタ
上田蚕糸専門学校の基礎を確立した初代校長………	針塚長太郎
平和運動を推し進めた眞の学僧・教育者………	半田 孝海
長野県政に一石を投じた『熱血漢』………	平野 茂
茶道文化の向上に貢献………	福田 宗位
『上田市史』を書いた地方史家・教育者………	藤澤 直枝
戦後の音楽の草創期を担った卓越した指導者………	藤澤 紫朗
上田地方を蚕種製造の全国的な中心地に発展させた功労者………	藤本善右衛門（昌信・保右・繩葛）
鎌倉幕府の執権北条氏の一族で、塩田北条氏の祖………	北条義政（塩田義政）
上田市を誕生させた初代市長………	細川吉次郎
神川を鉱毒から救つた誠実な指導者・上田市長………	堀込 義雄
信州教育進展の礎を築いた巨人………	正木直太郎

医学博士で小説家・戯曲家………正木不如丘

世界に名声をはせたミシン針製造家………増島 良三

正木不如丘
増島 良三

幕府老中も務めた松平氏最初の上田藩主………松平 忠周

松平 忠周

鎮国を打ち破り開国を唱えた幕末の英傑………松平忠優（忠固）

松平 忠久

外交官から政治家へ………松平 忠久

松平 忠久

女性の地位向上の道を拓いていった先達………丸山千代子

丸山千代子

大上田市の誕生と財政再建に尽くした市長………水野 鼎藏

水野 鼎藏

『潮音』の重鎮として活躍した歌人………峯村 國一

峯村 國一

地方自治に尽くした人………宮下 周

宮下 周

浮動する教育界に本筋を示し実践した教育者………宮下哲之助

宮下 哲之助

幕末の文化人・医師・茶人………宮下 弁覺

宮下 弁覺

近代日本の養蚕教育の先駆者・農学博士………三吉 米熊

三吉 米熊

放射化学の研究から温泉化学まで究めた理学博士………村上 悠紀雄

村上 悠紀雄

社会福祉事業家・歴史研究家………村上 和夫

村上 和夫

地方自治一筋に尽くした政治家………母袋忠右衛門

母袋忠右衛門

幕末の上田藩軍師………八木 剛助

八木 剛助

複眼に魅せられた昆虫学者………八木 誠政

八木 誠政

上田が生んだ大新聞の俊英な政治記者・評論家………山本 貫一

山本 貫一

世界で初めて人工ガン発生に成功した医学博士………山極勝三郎

山極勝三郎

創造と自由を追求した大正時代の芸術家………山本 鼎

山本 鼎

付表一上田町歴代町長、上田市歴代市長、上田市合併前の旧町村長、上田市会・上田市議会歴代議長、上田市選出歴代長野県会・

上田市選出歴代国会議員

人物候補者選考委員

執筆分担

参考文献

あとがき

上田市誌の編さん組織

表紙写真 先人の偉業を礎として発展を続ける上田市

上田市の中央には嚴流千曲川が流れ、河畔から周囲を見渡すと、のどかな田園風景のかなたに、太郎山や独鉱山を始め遠く烏帽子岳などの雄姿を望むことができ、四季折々の美しい景色を感受することができます。このような上田の風土こそは、人々の心を育み多くの逸材を生み出す背景となつてきました。

近年上田市は高速道路と新幹線が相ついで開通し、千曲川にも新たに二本の架橋が行されました。整ってきた交通網を地域の発展に生かしたり、かつての養蚕を中心とした産業から脱皮し、学術研究都市の実現を目指し、マルチメディアを活かした産業新興に力を入れるなど、先人の残した業績の上にさらなる発展をはかっています。

裏表紙写真 「時鐘櫓」

上田城下町の人々に時を知らせた時鐘櫓は、仙石氏在城時代以来のもので、大正時代末までの長い間、時刻を知らせ続け、時の移ろいを市民の心に刻み込んできました。人々は「時の鐘」と呼んで親しんできました。昭和に入つて上田城跡公園の石垣の上に移築され、現在に至っています。「平和の鐘」と名付けられています。